
my life

WAY

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

my life

【NZード】

N0454D

【作者名】

WAY

【あらすじ】

小さな頃の暴力や苦しい毎日をどうやって、解決してきたのか、悩んでる人へのメッセージ。

私の人生ってなんだろう?

自分は何のために生きてるのだろう。

私はなにがしたいのだろう。

毎日、そんな事を考える日々が続いている。

私は幼い頃から愛情に少し飢えてた気がする。あくまでも私が感じたことだけ。

私は、4人兄弟の次女。

幼い頃からやんちゃで、弟たちとよくイタズラしてたり、人に怪我させたり、ガラスを割つたりでよく怒られていきました。

そんな私にも小さな頃からの夢はあつた。よく、近所の年下の子たちと遊ぶことが、同級生よりも、近所のおばさんたちに『保母さんに向いてる』と言われた事がきっかけでなりたいと密かに小学生の頃思っていました。

兄弟が多いせいで、生活は苦しく、父親は仕事に忙しく、子供たちが騒いだり、言う事を聞かない、怒鳴つたり、叩いたりしてました。（何かしら理由はありましたけど・・・）

また、母親も仕事をするようになり、私は必死に家について欲しいと泣きながら、お願いしました。

でも、やはり生活が苦しく働くおえなかつたのです。そんな母も父親に『冗談を言うだけで、機嫌が悪くなり、子供の前で母の顔にビールをかける始末です。

私は、子供心に父は怖い人というイメージしかなかつたのです。

そして、兄弟4人でお留守番してると姉に殴られ、泣きながらよ

く家を飛び出し、母の職場に向かおうとしたり、公園のアスレチックで一人でよく泣いてました。今でも痣が残つてます。

また、習い事は、姉はエレクトーンを習つていました。私も習いましたが、よく姉についていつたりしてたけど習わせてくれませんでした。他の習い事は、嫌でも無理やり習わされていた。私には理解できなかつた。

また、幼稚園の先生に殴られたことも、今でもハッキリ覚えています。そして、中学生になつた私は、生まれつき持つてゐる喘息が少しひどくなりました。

また、転校し、転校先では根もない噂をたてられ、『ヤリマン』など影で言われ、なかなか馴染めなく、卒業。

そして、高校生になり仲の良い友達ができ遊ぶようになり彼氏ができたり、また、初体験をして相手に裏切られ、好きな人ができてまたつきあつてと出会いが多く、ある意味自分が変わつた時代でもありました。人見知りが少しづつなくなつてきました。ただこの時に男の裏切りや信用がなくなつてきました。

『忘れてた、夢をできるなら叶えたい。』

と卒業が近づくと思い始めた頃、姉が病気になり親に将来の話をする事ができず、就職の道を選択した。

高校卒業後、就職をした。

家庭の事情によつて、借金をかかえました。また、姉の自殺未遂の度に病院へ向かう日々、そして、どんなに頭に来ることがあつて喧嘩をすれば、私に我慢しなさいという親やまた姉が嫌で仕方なかつた。家にいたくなつた。

借金がまた膨らむ。

親に頼まれまた借金。

水商売の仕事もしてみたがあわなくて、辞めてしまった。

弟たちの進学で私がまた借金。

借金の返済で働いてもあまり手に残らず、欲しいものも我慢やりたいことも我慢。その上支払いが厳しくなると借りては返してを繰り返し、終わりのない借金の返済に負われる毎日。

そんなとき、今の彼氏に出会った。

出会いは最悪だった。

私は相手にしてなかつたが、1年ほど追いかけられた結果、彼の粘り勝ちでした。私は付き合うことになり、私の事を大事にしてくれる相手を初めて見つけました。

ただ、家庭の事情も私の事情もすべて知ってる。しかも金銭面も貸してくれたりしてやさしいが、そのぶん自分が嫌になる。気持ち的にも八方塞がりできつくて、たまらない。友人の情報でこの人生に明るい兆しが少し見えた。

やつと、終わりのない借金にゴールが見えてきた。法的に弁護士に頼んで整理したのです。

やつと相手と結婚を考えることが出来るようになりました。

これで、もうすぐ、『自由になれる』と思って考えてました。

ただ、この先私は何をしたらいいか、結婚して幸せになれるのか、考えるようになりました。心のゆとりができたのでしょう。

問題が解決しても次の問題がでて考える。そうやって、人生を手探りで常に答えを見つけてることがわかつた。

最初から簡単に解ける問題はない。

もし、死にたいや自殺を考える人がいたら、一寸先が闇と思つても前向きの姿勢で超難問の問題もかんがえたら、答えがでます。私の場合いろんなひとと出会い、色々話を聞いて解決策をみつけたんです。一人じゃなくて、相談をしてひとの助けや情報をもらつて、解決することができます。支え合いが大切だと身にしみて分かりま

した。

内に秘めるんではなくて、人に話すこととかわる。

本当に人の出会いは大切にしたい。

皆に贈ります。

『Going my way』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0454d/>

my life

2010年12月18日17時08分発行